



八十島 崇
やそじま たかし

元刑事ナレーター/警察監修

CONTACT

contact@yasojimatakashi.com

www.yasojimatakashi.com

〒107-0062

東京都港区南青山3-1-36

青山丸竹ビル6階

合同会社ニューヨークへ行きたいか

About Me

大阪府警察官として、生活安全部門の刑事を中心に高度サイバー犯罪やストーカー事案、特殊詐欺、違法風俗など多岐にわたる事件捜査を担当。

勤続20年を機に一念発起、外資系BIG4コンサルファームへ転職し、大手企業を対象としたサイバーセキュリティ・インシデント対応に携わる。

その後、独立し、FBIなど海外の捜査機関や諜報機関の対話技術をビジネスに転用し、内部不正対策、組織マネージメント、カウンターインテリジェンス、心理テクニックのコンサルティング教育事業を展開する「テブレイン株式会社」を設立。

現在同社を経営する傍ら、ナレーターや警察監修としても活動中。

EXPERIENCE

2001 - 2022

大阪府警察 - 最終階級は警部補

主な担当業務

- 生活安全部門を中心に所属
- サイバー捜査・ストーカー対策・特殊詐欺捜査・風俗事件捜査などが専門
- サイバー犯罪対策課にてサイバー追跡・デジタルフォレンジック・捜査一課など他部署捜査員へのサイバー捜査指導に従事
- 被疑者逮捕や捜索差押え・取調べ、重要犯罪の分析官としてプロファイリングなど現場捜査指揮
- 中国語通訳としての対応経験あり

2022 - 2025

BIG4コンサルティングファーム - サイバーセキュリティコンサル

主な担当プロジェクト

- 大手銀行依頼のフォレンジック業務
- 大手保険会社でのセキュリティ技術対策
- 大手証券会社へのランサムウェア被害インシデント対応/再発防止対策案策定

2025 - 現在

テブレイン株式会社 - 代表取締役CEO

主な事業内容

- FBIなど海外捜査、諜報機関などのHUMINT技術を経済安全保障ビジネスフォーマットに転用した内部不正対策・社内インテリジェンスなどのコンサルティング・教育コンテンツ提供・対話AIアプリ開発

SKILLS

- 中国語（元大阪府警察指定通訳員）
- 柔道参段、剣道式段
- 犯罪・防犯・サイバーセキュリティ・インテリジェンス分野の専門知識を活かした、内容監修を伴うナレーションも対応可能

YouTube

海外警察のボディカメラ映像などを自ら編集し、「警察密着ドキュメント」テイストのナレーション動画

YouTubeチャンネル 刑事ナレ

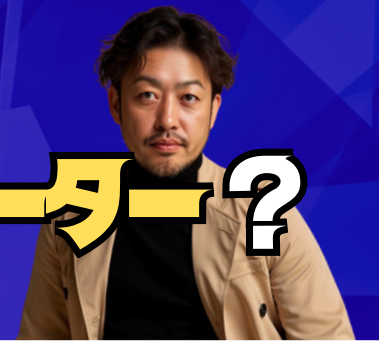


SAMPLE



是非ご覧ください

ベテラン刑事 × BIG4コンサル = ナレーター? なんて?!



こんな
お悩みに
ご対応

- 警察関係の番組、警察用語や捜査手順が間違っていないか不安…
- 現場のヒリヒリした緊迫感を出せるナレーターが欲しい
- 犯罪解説の映像制作で、専門家とナレーターを別々に手配する予算が…

八十島崇が1人で解決・コストカットします！

01

リアルな声の演出



現場を知る元刑事のみが出せる現場の空気感をナレーションで再現します。警察・IT・法律の専門用語も正確なアクセントで読み、録音ブースの中でその場で修正でき、リテイクを大幅削減します。

02

警察・防犯監修



元警部補の知見で脚本や演出をチェック。捜査手順や警察用語、所作指導が可能です。全国警察に多くのパイプがあり、最新事情の検証も可能。作品の矛盾や炎上リスクを未然に防ぎます。

03

専門家出演・解説



BIG4出身のサイバーセキュリティ専門家として説得力ある解説が可能。その他、FBI交渉術や経済安全保障にも精通しており、出演・解説も承ります。

ナレーターという枠を飛び越え、警察・セキュリティ案件において、最も話の早い専門家です

各種ご依頼
承ります！

お気軽に
ご連絡ください。



ナレーター・警察監修などをご検討の方は、弊社担当までお気軽にご連絡ください。また、内部不正対策、組織マネージメント、経済安全保障のコンサルティング教育事業も、下記窓口にて承っております。

八十島 崇 - 合同会社ニューヨークへ行きたいか

contact@yasojimatakashi.com

www.yasojimatakashi.com



あると便利?! 秘警察用語集

※本資料は、地方公務員法に配慮した内容になっております。警察監修可能なナレーターとして、脚本校閲や演出の「次」のご相談も承ります。現場のリアルを声と知見で支えます。詳細な裏付けが必要な際は、ぜひお気軽にご連絡ください。

索引	用語	意味・解説
ア	アカウマ	放火
	アトアシ	犯行後の犯人の足取り (後足)
イ	イチナナロク	不同意わいせつ (旧強制わいせつ)。語源は条文番号
	イチナナナ	不同意性交等 (旧強制性交等または強姦)。語源は条文番号
	123	照会センター (イチニッサン)
	移牒 (いちよう)	受理した捜査書類を他の警察署等に送付し、処理を任せること
ウ	ウカンムリ	窃盗事件のこと。窃盗の「窃」の冠から
	うたう	犯人が犯行を自供すること
	裏取り	裏付け捜査
エ	S (エス)	内通者、スパイ
	Xデー	被疑者の逮捕予定日、またはガサ予定日
	N (エヌ)	Nシステム (自動車ナンバー自動読取装置)
オ	大部屋	所轄署刑事課の執務室 (知能係別室を除く)
	オヤジ	警察署長 (親指で表すことも)
カ	戒名 (カイミョー)	捜査本部の正式名称 (例: ○○事件捜査本部)
	ガサ	捜索差押 (家宅捜索)。「さがす」の逆読み
	カツミ	恐喝未遂
	ガラ	身柄、または被疑者そのもの
	ガラウケ	身柄引請、または身柄引請書のこと
	カンキ	管区機動隊
	カンク	管区警察局、または管区警察学校
キ	機捜 (キソウ)	機動捜査隊
	基調	基礎調査の略。内偵捜査のことで、戸籍や住民登録、銀行口座照会捜査などを含む
	緊急執行	①発付を受けている逮捕状が手元にない場合の逮捕 ②サイレン吹鳴での急行
	キンタイ	緊急逮捕
ク	首なし	犯人 (持ち主) が不明のまま事件送致すること

索引	用語	意味・解説
ケ	ケーシン	警察信用組合 (警視庁信用組合など一部の警察にある金融機関の略称)
	ケーデン	警察専用の電話回線
	ゲソ・ゲソコン	現場に残された足跡痕
	ケンチャー	検事調べ (検察官による取調べ)
コ	ゲンタイ	現行犯逮捕
	ケンメン	検察官が作成した供述調書 (検面調書)
	ゴイチ	路上で客引きする売春婦 (売防法5条1号から)
ク	コーカク	行動確認
	個別 (コベツ)	被疑者1名のみを捜査用車両などで護送する個別護送のこと
	ゴンベン	詐欺事件のこと。詐欺の「詐」の偏から
サ	サッチョー	警察庁
	サツミ	殺人未遂
	サンズイ	贈収賄事件。汚職の「汚」の偏から
	サンビヤク	大阪府警での「警察官」を指す隠語。以前は無線で3桁の番号で呼称していた
シ	集中	被疑者をバスなどでまとめて護送する集中護送のこと
	主任	警視庁では本部の警部補、大阪府警では署・本部を問わず巡査部長の敬称
	巡連	巡回連絡
	シュクセキ	宿直責任者。(トーセキ…当直責任者。都道府県警によって呼び方は様々)
	職番	職員番号
	人定 (じんてい)	個人を特定する情報 (住所・氏名・生年月日など)
ス	スミ	入れ墨
セ	センタイ	選挙対策本部
	占脱・占離	占有離脱物横領 (いわゆる遺失物横領)
ソ	卒配 (ソツハイ)	警察学校卒業後に警察署へ配属されること。またはその警察署のこと
タ	タタキ	強盗事件 (「たれ込む」が語源)
	タレ	被害届 (「たれ込む」が語源)

索引	用語	意味・解説
チ	地取り	現場周辺の住民への聞き込み捜査
	チャカ	拳銃 (リボルバー式拳銃の撃鉄を起こす様子から)
	長さん (チヨーさん)	警視庁での巡査部長の敬称。例: ○○長さん
	調書をまく	供述調書を作成すること
ツ	帳場 (ちようば)	捜査本部、またはその会議室
	チンコロ	密告、告げ口
ツ	ツーツ	通常逮捕 (逮捕状による逮捕)
テ	デカ	捜査員、刑事 (とはいえ、警察内部では実際使われていない)
ト	特練	大会に向けた選抜練習生、またはその期間
	トクリュウ	匿名・流動型犯罪グループ。SNSで集めた見知らぬ者同士の犯罪集団
	トリジョウ	取調べ状況報告書
ニ	ニンドー	任意同行の略
	ニンヒドリ	紙、木材、布などから指紋を検出するための化学薬品
ノ	ノビ	侵入窃盗の手口「忍び込み」の略
ハ	バケ	薬物を入れる透明な袋
	ハンチャー	署では警部補、本部では警部、巡査長の捜査員の敬称の場合も
ヒ	P B	交番 (Police Box)
	P C	パトカー (Patrol Car)
	P M	警察官 (Police Man)
	P S	警察署 (Police Station)
	Pフォン	地域警察官が携帯するスマートフォン
フ	副さん	副署長 (小指で表すことも)
ヘ	弁当持ち	執行猶予中の者
ホ	ホシ	犯人 (警視庁で使用。他府県では使っていない場合が多い)
ホ	ポリスメイト	指印 (指紋採取) に使うインクの商品名。警察官の必需品だが多くは個人購入
	ポンプ	注射器

索引	用語	意味・解説
マ	マエアシ	犯行前の犯人の足取り (前足)
	的割り	特定の人物に絞って行う行動確認 (主に盗犯係)
	マルガイ	被害者
	マルキ	機動隊、または機動隊員
	マルショク	警察官の食事
	マルセイ	精神疾患患者 (現在は公には使われていないが…)
	マルソウ	暴走族
ミ	マルタイ	逮捕
	マルヒ	被疑者 (犯人)
	マルB・マルG	ヤクザ、暴力団関係者
	マルモク	目撃者
メ	ミタレ	被害届が出ていない (通報されていない) こと
	民速 (ミンタイ)	民間人 (私人) による現行犯逮捕のこと
モ	面割り (メンワリ)	事件関係者に複数人物の顔写真を見せ、その中から選ばせて特定するなどの手法
モ	モンを振る	指紋を顕出すること (アルミ粉末を振ることから)
	モンシャ	被疑者写真の撮影と指紋採取
ヤ	ヤサ	住んでいる家のこと (刀のサヤが語源)
	宿帳 (ヤドチャウ)	留置人名簿
	屋根付き	建物侵入を伴う窃盗 (空き巣など) の呼称。作成すべき書類が多い。
リ	リモコン	警察署の無線指令室
レ	レキ	犯罪歴
ロ	ロクロク	録音・録画による取調べ
ワ	ワッパ	手錠
	ワレる	犯人が誰か判明すること

元刑事ナレーターによる制作会社様向けリアリティ簡易チェックリスト

- 逮捕・強制捜査のリーガルチェック**
 - 逮捕種別の選択は適切か? : 通常逮捕 (ツウタイ)・緊急逮捕 (キンタイ)・現行犯逮捕 (ゲンタイ) の法的選択は状況と矛盾していないか。
 - 「任意」の空気感の演出: 職務質問からの任意同行において、有形力行使の境界線がリアリティを損なっていないか。
 - 証拠品手続きの正確性: 被疑者や参考人が自ら出す「任意提出」と、警察が強制的に押収する「捜索差押え」が混同されていないか。
 - 捜索差押 (ガサ) の作法: 令状の呈示から証拠品押収、目録作成までの手順に法的な矛盾はないか。
- 現場の専門的描写**
 - 「ケンシ」の使い分け: 警察官が行う「検視」、医師が行う「検死・検屍」。脚本やテロップで混同されていないか。
 - 遺体発見現場のフロー: 発見直後の初動、実況見分、検証 (法的な検証) の順序に無理はないか。
 - 「現場検証」という言葉の回避: メディア用語の「現場検証」ではなく、法的な「検証」や「実況見分」という言葉を台詞に反映できているか。
- 組織・階級の内部事情**
 - 捜査本部 (帳場) の「実情»: 幹部と捜査員の座り位置、誰が誰を指揮しているかという「格」の描写は適切か。
 - 階級と実務のミスマッチ: 警部補の実務、警部以上の統制描写が自然か。
 - キャリアとノンキャリア: キャリアの昇任スピードや現場での利害の対立が現実的か。
 - 部門の役割分担: 刑事課、生活安全課、地域課などのセクションの役割が正しく配置されているか。
- 演出・用語の最新リアリティ**
 - 被疑者と容疑者、被告人: 警察内部の会話と報道シーンでの使い分けができていないか。
 - 最新装備の活用: 無線、端末照会などの扱いが現実的か。
 - サイバー捜査の活用: 行き過ぎた「魔法」のような描写にならず、サイバー空間の実情に即した捜査手法になっているか。


八十島 崇
 合同会社ニューヨークへ行きたいか
www.yasojimatakashi.com
